

# 笑ってごらん

第 632 号 H. 30. 9. 15 発行

～今日の格言～

弱さを見せられる相手が居てくれる事に感謝  
(浜崎あゆみ)



8日(土)の体育大会は雨天続きのため体育館での縮小開催とした。「何とか外でやれないか」と、天気予報サイトとにらめっこの数日だったが、当日朝まで降り続く状態ではどうしようもない。

広さに制約のある体育館でのマスゲーム。かなり工夫や配慮が必要であったが、皆よく頑張ってくれた。本当に協力ありがとう。皆の元気・笑顔に来賓の方々も癒やされっぱなしだったようだ。

体育館内でマスゲームを行っている最中は雨も上がっており、空を怨めしい思いで眺めた時間もあった。(その後再び本降りとなったが…。)

この日、他校でも、雨の中強行開催したり、外と体育館を行き来したり、順延に次ぐ順延となったり、なかなか判断に苦慮されたようだ。

記憶に残る稀なケースの体育大会であったことは間違いない。お疲れ様！

先日、全米オープンテニスで大坂なおみ選手がセリーナ・ウィリアムズ(米)に勝利し、日本選手としては男女を通じて初の快挙となる四大大会優勝(グランドスラム)を成し遂げた。

この対戦は別の視点でも注目を集めることとなった。試合中、ウィリアムズ選手が三度の警告を受ける状況があったからだ。

一度目は、客席に居たコートから身振りで指示を受けた、というもの。

二度目は、ラケットを破壊し、ペナルティとしてポイントが大坂選手に与えられた。

三度目は、主審に暴言があり、大坂選手にゲームが与えられた。

ウィリアムズ選手のファンが多いアウェイの環境の中で堪え忍んだ大坂選手に拍手を贈りたい。



最近「おそれいます」という挨拶が気になっている。買い物に行った際、店員さんなどから言われることがある。う～む、「おそれいます」って、自分はいくらも使うことがないなあ…。

「おそれいる」とは「畏れ入る」と書き、神々への畏れを意味しているらしい。八百万(やおよろず)の神々は、自然界のあらゆる所に宿っていて、自然から得る恵みは、神の所有物を分け与えられていると意識していたことと繋がる。だからこそ、自然を敬い、そして畏れてきた。

度重なる台風接近に辟易した今夏。海水はこうした台風や竜巻などによって時折大きくかき混ぜられ均一化し、安定状態を保つと言われている。地上に住む人間にとっては都度もたらされる被害に困惑する台風であるが、自然界にとっては必要なことなのだ。

次第に暑さが和らぎ、朝夕はかなりしのぎやすさを感じられるようになった。今後各地で秋祭りが執り行われる。『五穀豊穰』を願い、『実りの秋』に感謝する祭りである。(五穀とは米・麦・アワ・キビ・豆のことである。)



私が小さい頃(私は最初からデカかった訳ではない…)、食事時、祖母から「茶碗に飯粒を残すな!米一粒一粒が天の恵み。お百姓さんの汗の結晶だ!」と言われていたことを思い出した。まさに農家の方々の日々の苦勞に対して「畏れ入る」ばかりである。近年贅沢になってきているが、「食べ残し」について再考してみよう。